



く る め し り つ み づ ま し ょ う が っ こ う が っ こ う
久留米市立三潨小学校 学校だより

ぎんなん

だい 第 1 3 号
れい 令和 4 年 3 月 2 4 日
こ 校 長 後 藤 真
じ と 童 数 4 7 9 名

ご卒業おめでとうございます (3月17日)



＜写真は、卒業式当日の子ども達、保護者の皆様、6年生担任等の様子です＞

～未来に向かって大きく羽ばたこう～

3月17日、6年生の卒業証書授与式が本校体育館にて行われました。6年生80名が三潨小学校を巣立ちました。当日、卒業生への祝辞では、冬季オリンピックフィギュアスケートの羽生弓弦選手を取り上げ、美しく華やかな演技の裏には、数多くの挫折や大きな怪我があったことを乗り越え、夢を持って全力で挑戦続けた姿を伝えました。ぜひ、卒業生の皆さんには、強く、そしてしなやかな心をもって、夢の実現をめざして大きく羽ばたいてくれることを願っています。

これまで温かく支えていただいたご家族の方々、三潨校区の地域の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。今後とも、温かく見守っていただきますようお願いいたします。

なお、1年生から5年生の在校生は、3月24日に修了式を迎え、4月からは、それぞれ進級します。

スポーツ選手の伝記を読んでもみませんか



＜伝記の紹介コーナー＞

令和4年2月冬季オリンピック北京大会が開かれました。多くの冬のアスリート達が練習の成果を発揮し、大活躍をしました。高木美帆選手、小林陵侑選手、平野歩夢選手など、多くのメダリストが誕生しました。中でもカーリングのロコ・ソラーレの選手達の、いつも笑顔を絶やさず、コミュニケーションをとりあって、試合に挑んでいる姿は印象的でした。図書館でも、冬のアスリートの本を購入し、皆さんに楽しんでもらえるよう展示しました。この機会にスポーツの伝記を読んでもみてはいかがでしょうか。

＜学び合い、高め合うコーナー＞（あいさつ・歌声・読書）

本年度三潞小の合言葉は「学び合い 高め合う」です。特に、三潞小の心を響かせる3つの約束「あいさつ」「歌声」「読書」の取組に力を注いでいます。最終回は、未来に羽ばたく子ども達のために、谷川俊太郎さんの詩を贈ります。

生きる

谷川 俊太郎

生きているということ
 いま生きているということ
 それはのどがかわくということ
 木もれ陽がまぶしいということ
 ふっと或るメロディを思い出すということ
 くしゃみすること
 あなたと手をつなぐこと

 生きているということ
 いま生きているということ
 それはミニスカート
 それはプラネタリウム
 それはヨハン・シュトラウス
 それはピカソ
 それはアルプス
 すべての美しいものに出会うということ
 そして
 隠された悪を注意深くこぼむこと

生きているということ
 いま生きているということ
 泣けるということ
 笑えるということ
 怒れるということ
 自由ということ

 生きているということ
 いま生きているということ
 いま遠くで犬がほえるということ
 いま地球がまわっているということ
 いまどこかで産声があがるということ
 いまどこかで兵士が傷つくということ
 いまぶらんこがゆれているということ
 いまいまが過ぎてゆくこと

 生きているということ
 いま生きているということ
 鳥ははばたくということ
 海はとどろくということ
 かたつむりははうということ
 人は愛するということ
 あなたの手のぬくみ
 いのちということ

※ 「生きる」の詩は現在6年生の国語の教科書（光村図書）に掲載されています。

◆ 長い間「ぎんなん」を読んでいたいただきありがとうございました。

